



平成 27 年 3 月 18 日

各 位

会社名 株式会社エス・エム・エス  
代 表 者 名 代表取締役社長 後藤 夏樹  
(コード番号：2175 東証第一部)  
問 合 せ 先 経営管理部長 杉崎 政人  
(TEL : 03-6721-2400)

## 株式会社エイルの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月 18 日の取締役会において、株式会社エイル（以下「エイル社」という）の株式を取得し当社の子会社とすることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本取得の理由

わが国の高齢者人口（65 歳以上）は既に全人口の 1/4 を占めるまでに拡大し、高齢者の介護・医療をどのように維持し推進していくかが重要な社会問題となっています。現在、日本では病院中心の医療体制となっており、約 8 割の方が病院で最期を迎えられています。厚生労働省のアンケートによれば約 6 割の方が自宅で最期を迎えたいと希望しており、2025 年に自宅で療養する人は現在の 2.5 倍に達するといわれています。

そして、行政も積極的に在宅療養や地域医療連携を推進しています。しかし、重要な参加者であるクリニック、訪問看護ステーション、訪問介護等の介護事業者、歯科医院、薬局等、様々な介護・医療事業者及びそれらの従事者間での連携は十分に取られているとは言いづらく、大きな課題となっています。

そのような状況のなか、エイル社は在宅療養を推進すべく、地域医療連携支援システムを他社に先駆けて開発・提供をしてきました。同システムは既に多くの介護・医療事業者が導入し、多職種間で積極的に活用されています。

一方、当社は、「高齢社会に適した情報インフラを構築することで価値を創造し社会に貢献し続ける」ことを企業理念に掲げ、介護・医療・アクティブシニア分野に対して、情報がコアバリューとなる様々なサービスを提供しております。当社の事業領域と密接に関係している在宅医療や地域医療連携においても、新たなサービスの開発を検討してまいりました。

今回の出資により、当社が培ってきた介護・医療事業者及び従事者とのコネクションを活用し、エイル社のシステムの普及を加速させていきたいと考えております。それにより、エイル社のシステムを地域医療介護連携のプラットフォームにしていき、在宅療養や地域医療連携の推進に

貢献していきたいと考えております。

## 2. 本取得の方法

既存株主からの譲渡（250株）及び第三者割当増資引受（400株）により、エイル社の株式を計650株取得いたします。取得価額につきましては、エイル社との取り決めにより開示を控えさせていただきます。

## 3. 子会社となる会社の概要

- |                   |  |
|-------------------|--|
| (1) 商号            | 株式会社エイル  |
| (2) 所在地           | 福岡県福岡市博多区  |
| (3) 代表者           | 代表取締役 片山 嘉國  |
| (4) 主な事業内容        | 地域医療連携支援システムの開発、販売   |
| (5) 資本金の額         | 5百万円   |
| (6) 設立            | 2011年9月  |
| (7) 発行済株式総数       | 500株   |
| (8) 上場会社と当該会社との関係 | 当社と当該会社、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間に記載すべき資本関係・取引関係・人的関係はありません。 |

※大株主及び持株比率、直近経営成績及び財政状態等の詳細につきましては、エイル社が非上場会社であるため、開示を控えさせていただきます。

## 4. 取得前後の株式の状況

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株（所有割合 0.0%）    |
| (2) 異動後の所有株式数 | 650株（所有割合 72.2%） |
- ※異動後の所有割合は、第三者割当増資後の発行済株式総数（900株）をもとに算出しております。

## 5. 日程

- |             |               |
|-------------|---------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成27年3月18日    |
| (2) 契約締結日   | 平成27年3月末日（予定） |
| (3) 株式取得日   | 平成27年4月1日     |

## 6. 今後の見通し

本件により、エイル社は平成28年3月期より当社の連結子会社になる予定ですが、本件による平成28年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微です。

以 上